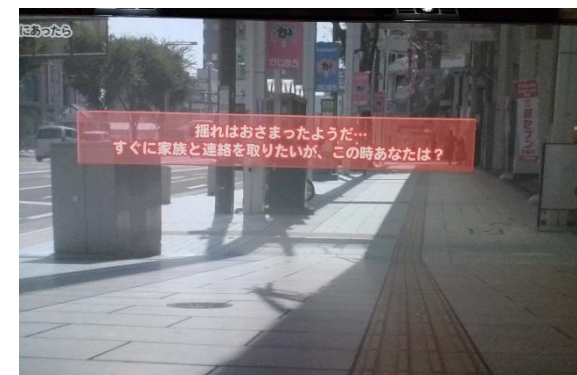
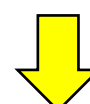
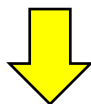
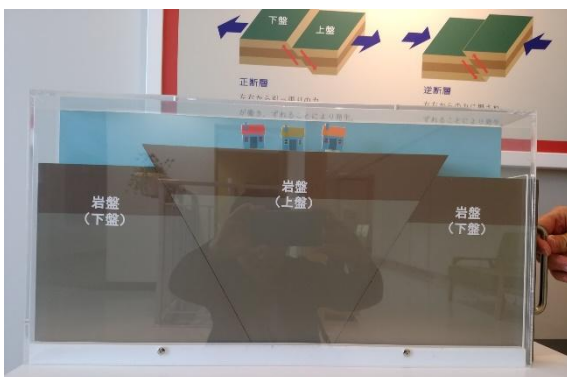
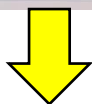


今まではこんな活動をしてきました

(メンバー+掛川市民)

- 5月11日(土) 浜松市防災学習センター見学 (3人+1人)



・ 5月11日(土) 浜松市聖隷病院医師によるトリアージ講座 (3人+1)

令和元年、命のバトン浜松として最初の講座「第2回、命のバトン浜松市民公開講座」を開催しました。

テーマは「大規模災害発生時、自助・共助の大切さ」知っておきたい応急手当・市民トリアージをシュミレーション形式で体験していただく内容で、浜松市と掛川市から5名の方が受講してくださいました。

第1部は、自助・共助とは?事前の備えを含めた心構え、災害医療・トリアージで知っておいてほしいこと、命を守るABCDEの各ポイントの解説、クラッシュ症候群、出血・けが・骨折時の応急手当についてお話しさせていただきました。

今回から、新メンバーに講座のコマの一部を受け持ってくださいました。事前にごことをお願いしましたが、配布資料も用意して受講者さんに分かりやすくお伝えできていて、今後の活躍が楽しみです。これからも各種講座を通して、経験を積んで成長していけるように温かく見守っていきます。



浜北区 自助・共助の大切さ伝える

子どものけが予防などを普及啓発する浜松市の市民グループ「命のバトン浜松」(田中しげ子代表)は11日、災害時の自助と共助を題材にした市民公開講座を浜北区の浜北地域活動・研修センターで開いた。

鈴木直浩副代表=写真右=が「大災害発生時は119番がつかなくなる」と説明。家具を固定したり非常時の食料や水を用意したりする自助と、

高齢者や幼児ら「災害弱者」を地域で助ける共助の大切さを強調した。

避難者の歩行可否や意識の有無などに応じて住民が治療と搬送の優先度を判断する「市民トリアージ」の体験会も行った。

● 9月8日(日) 静岡県視覚障がい者支援センター主催の
防災講座：静岡市（1人）

〈個人情報〉		〈裏面はお願いカード〉	
氏名(フリガナ)	()		
年齢・性別	歳 男性 女性		
住所			
携帯/固定電話			
メールアドレス			
避難先	自宅 避難所		
血液型	A B O AB rh- rh+		
見え方	全盲 強度弱視 夜盲 その他		
障害者手帳	なし あり 級		

〈お願いカード〉 〈裏面は個人情報〉

私は目が見えません。お手伝いをお願いします

- トイレを使用するにあたって
 - ・トイレの場所と、トイレ内のレイアウトを教えてください。
 - ・みんなで使うときの決まり事を教えてください。
 - ・消毒などの衛生管理について配慮をお願いします。
- 情報を入力するにあたって
 - ・掲示物は内容を言葉で教えてください。
 - ・配布物は、その用途や使い方などについて、言葉で教えてください。
 - ・周りの状況に気付かないこともありますので、直接声をかけてください。
- 移動するにあたって
 - ・配給物があるときは、その場所に行けるように、お手伝いをお願いします。
 - ・トイレや食事などで移動が必要なときに、お手伝いをお願いします。
 - ・白杖や盲導犬で歩いているときに危険なことがあれば声をかけてください。

SOS

令和元年 第4回静岡市駿河区西豊田インクルーシブ防災活動

地域で支え合う力を高める
宿泊防災訓練

豊中体育館でリアルな避難所生活を体験しよう!!

開始 11月30日(土) 14:00 ~
終了 12月1日(日) 12:00

会場 静岡市立豊田中学校 体育館

対象 関心のある方ならどなたでも

プログラム

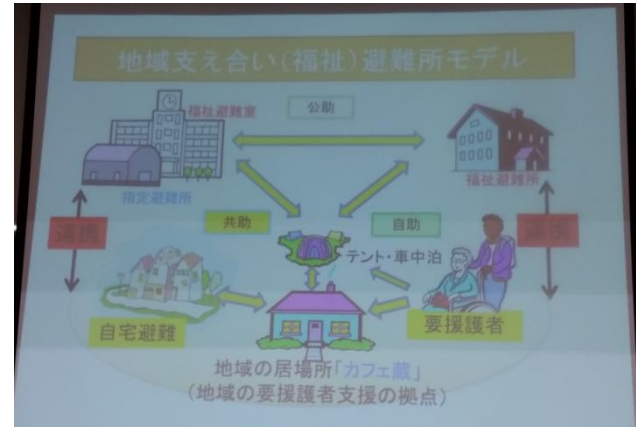
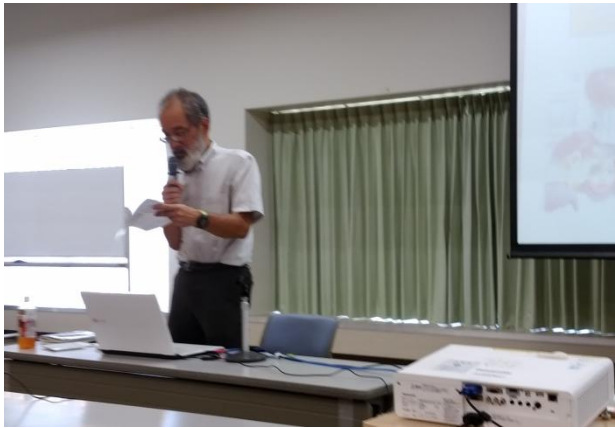
- 【1日目】避難所の開設・運営、福祉スペース設置、要配慮者支援 宿泊体験(体育館宿泊、車中泊、テント泊も可)
- 【2日目】安全確認、防災マップづくり、防災ワークショップなど

お問い合わせ：静岡市社会福祉協議会 駿河区地域福祉推進センター

TEL 054-280-6150 大澤・久保田
FAX 054-286-9545
e-mail suruga@shizuoka-shakyo.or.jp

主催 西豊田学区地域支え合い実行委員会

参加無料!!
見学・視察
部分参加も可



9月8日(日) トリアージ講座：静岡市（2人）



トリアージの意義

- 誰でも同じレベルを維持できる
多数の怪我人を
速やかに重傷と軽傷に分けることができる
- “迷ったら重いほうにするルール”で
判断ミスを減らし
トリアージする人の気持ちの負担を減らせる
- 負傷者、重傷者が多発する大災害では
重傷者を早く治療に結び付けることは
命を失う人を減らすことに、即つながる



NPO災害・医療・まちづくり
市民トリアージ講座

・11月14日(木)

防災スペシャリストが女性目線で伝える防災講演会:菊川市 (2人)

令和元年度
防災スペシャリストが女性目線で
伝える防災講演会

減災と男女共同参画
「一人ひとりの特性をふまえた支援とは」

講師: 浅野 幸子 さん

◆減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
◆早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員

阪神・淡路大震災に際して学生ボランティアから国際協力NGOのスタッフ
となり、在宅避難者・仮設住宅・全世帯の復興支援などに4年間従事。そ
の後の「財」消費生活研究所などで事務局・研究員として勤める。この間、最
きながら法政大学院修士課程修了(政策科学修士)。2011年に発足した東
日本大震災女性支援ネットワークの活動に参加。主な分野は地域防災。
日本大震災女性支援ネットワークの活動に参加。主な分野は地域防災。
各地で、防災講演・講座・研修を行いながら、「避難所運営ガイドライン」
(内閣府・2016) ほか、国・自治体の防災政策にも関わる。

令和元年11月14日 木曜日
開演19時00分~20時30分 (開場: 18時30分)
会場: 菊川文化会館アエル小ホール

申し込み
不要! 入場無料!

どなたでも大歓迎!!

東日本大震災や、阪神地震のような過去の大規模災害では、女性・体
が不自由な人・高齢者・子ども・アレルギーなどの疾患を持つ人・外国
人など様々な事情を抱える人へ、周りの人を含む『地域』からの配慮
(対応)が充分行き届かない(できなかった)事例があり、とても大きな
社会問題となりました。

講演では、災害時における一人ひとりの多様性(特性)を踏まえた支
援の必要性や、避難所生活のポイントについてお話しいたします。

主催 菊川市役所 (危機管理課・地域支援課)

問い合わせ 危機管理課 防災対策係 TEL0537-35-0923

ひとりひとりの特性を
ふまえた支援とは

浅野 幸子
減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員

GDPR

災害の種類や状況によってうまく行動できそう?

地震 ・火災、津波などの発生危険性の有無の判断 ・余震に対する建物の強度 ・避難経路の選択(家屋倒壊による道路閉塞、火災、積の崩落、落下物等)	火災 ・初期消火が肝心。燃え広がってしまつたらすぐ避難 ・風向き・避難路 ・一時集合場所、避難場所の確認(避難所との違い)	津波 ・すでに高台や十分な高さのビル等に避難 ・避難時にわたり繰り返し津波が来る可能性がある。	洪水・土砂災害 ・気象状況、地形の確認。地下街も危険。 ・避難のタイミングと避難経路確保 ・水の中を歩くのは危険。
---	---	--	---

共通のリスク要因

自分や家族の身体状況(避難先の条件含む)
周囲の支援の有無
屋間か夜か(停電の有無含む)
季節・天候(雨・風・暑さ・寒さ)など

乳幼児、高齢者、障害者を連れて未だに逃げられるか
逃げたいけどどう逃げようか

GDPR

ホームページ

Sachiko ASANO, Researcher
National Federation of Regional Women's Organizations

浅野幸子HP

減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員
専修大学 非常勤講師

連絡先 e-mail: sachiko_asano@mbr.nifty.com

主な社会活動歴

プロフィール

学歴及び主な職歴

<職歴>

阪神・淡路大震災に際して学生ボランティアから国際協力NGOのスタッフとなり、在宅避難者・仮設住宅・全世帯の復興まちづくり協議会の支援などに4年間従事。その後、「財」消費生活研究所、全国地域婦人団体連絡協議会でそれぞれ事務局・研究員として勤める。この間、働きながら法政大学院修士課程修了(政策科学修士)。2011年6月に発足した東日本大震災女性支援ネットワークの活動に参加。2014年4月より、後援団体である、減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表。主な分野は地域防災。ここ数年、年間100前後の防災講演・講座・研修を各地で行っている。

●最終学歴
法政大学大学院 社会科学部 政策科学専攻 修了(2003年3月、政策科学修士)
(地域・コミュニティ政策プログラム)

●職歴等(教育機関)
・早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員(2003年~現在)
・東京女子大学 非常勤講師(2005年4月~2014年3月) 非常判組織論担当
・早稲田大学 非常勤講師(2006年4月~2014年3月) 災害関係科自担当
・専修大学 非常勤講師(2014年4月~現在) 社会学担当(教養科目)

●職歴等(教育機関以外)
・青洲国際ボランティア会 スタッフ (現・公益社団法人サンディ国際ボランティア会)

www.asanohp.jp

19

・ 1月12日(日)

防災女子カパワーアップ講座「池田恵子氏講演」静岡県主催

袋井市（4人+4人）

防災キャンディーズと協働



被災ツリーを作成することに挑戦

※「防災キャンディーズ」とは東大坂地区の女性防災会

※この日はちょうど居合わせた、静岡県職員も参加

・ 2月2日(日)

ふじのくに男女共同参画防災プロジェクト：藤枝市（3人）

ふじのくに男女共同参画防災プロジェクト2019

静岡県では、平成24年度に「ふじのくに男女共同参画防災プロジェクト」を立ち上げ、防災の分野に男女共同参画の視点を取り入れる事業を実施しております。今年度は、藤枝市と共催で自主防災組織と女性防災リーダーの連携を図ることを目的として講座を実施しますので、是非御参加いただき、地域での活動に活かしてください。

開催日時 2020年 2月2日(日) 13:30～16:30(受付13:00～)

会場 高洲地区交流センター (藤枝市高柳4-9-13)

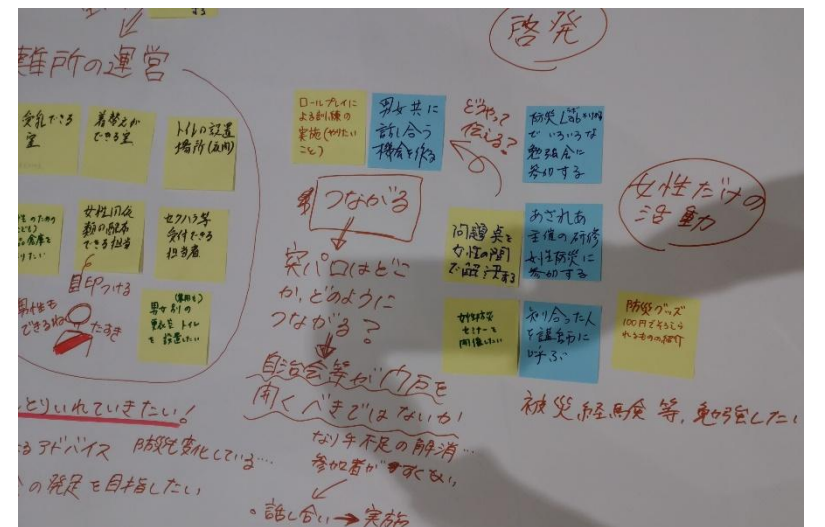
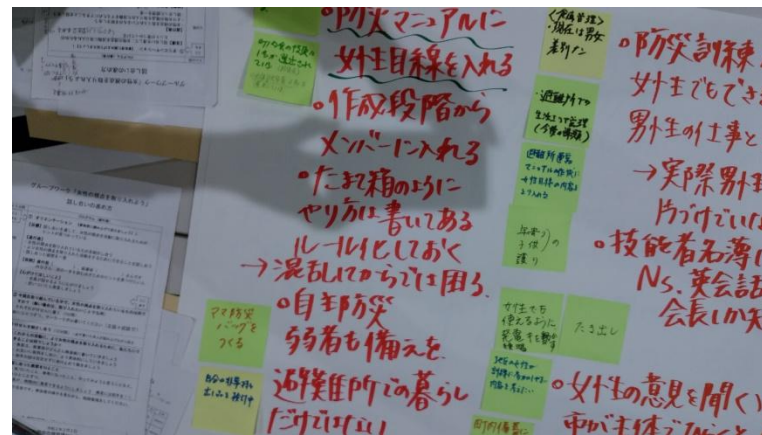
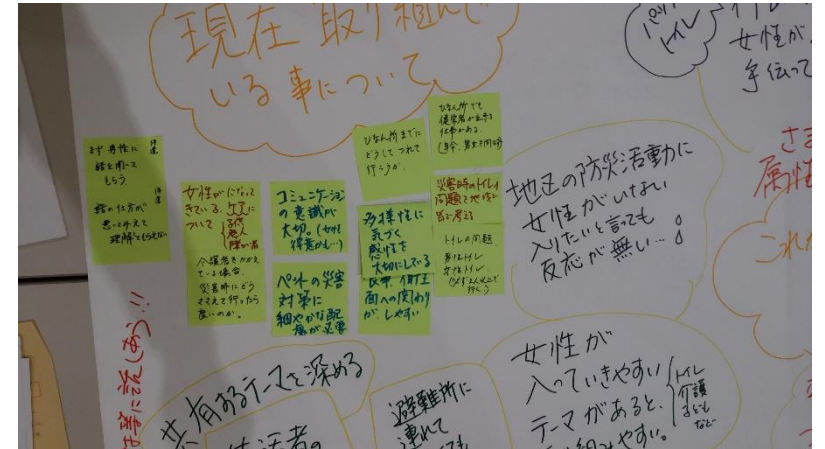
内容 ☆ 参加費無料 ☆ お子様連れで参加いただけます。

- 男女共同参画の視点を取り入れた防災の取組
 - 静岡市(地域防災に女性が参画するまで)
 - 掛川市(男女共同参画の視点での避難訓練・避難所運営)
 - 藤枝市(現状の取組や今後について)
- グループワーク (地域防災に男女共同参画の視点を取り入れるために)

当日のコーディネーター

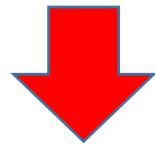
鈴木 まり子
 ファシリテーター・研修講師、
 NPO法人 日本ファシリテーション協会の災害復興委員会メンバーとして、東日本大震災から台風19号まで各地の要請に応え多様な話し合い、対話の場の進行役を続けている。

主催 静岡県 共催 藤枝市



今後こんな活動をします

- 収集した情報を共有し、知識を高める。
- 被災ツリーを各地域で作成するための学習・話し合いをする。
- S・O・Sカードを作成するための学習・話し合いをする。
- 市の危機管理課、県の男女共同参画課と共同する
- 月1回の定例会を設ける。



- 研修会に数多く参加し、学習を積み重ねる
- 学んだ事・情報を実践の場を通して、掛川市内の女性防災へアドバイスしていく。
- 各地域に沿った被災ツリー・ S・O・Sカードを作成、検証し地域の防災に役立てる。